

「親子で遊ぼう！女技の夏休みオンラインサイエンス 2021」開催報告

日時：令和3年8月3日(火)、17日(火)

場所：zoom(オンライン開催)

対象：小学生3年～4年生

概要：

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークでは、地域貢献活動にも取り組んでいます。その一つとして、在宅を強いられることの多い子どもたちの夏休みに少しでも楽しい時間を過ごしてもらいたいとの思いで、昨年の夏に続いて小学生対象にサイエンスイベントをオンラインで開催しました。今回は全国の大学・工業高等専門学校の協力を得て女性技術職員が講師を務め、また参加者も広く募るなど全国規模で執り行いました。全国の女性技術職員が連携する初めての企画となります。8月3日、17日の午後にそれぞれ2回ずつコースを設け参加者の親子各40組、合計160組を先着順で募集しました。

当日は、メイン会場は本学基礎工学研究科に置き、各大学・工業高等専門学校に会場を設け、オンラインで参加者となつた形式で開催しました。初めに奈良 哲・人事労務、事務組織、リスク管理、ダイバーシティ&インクルージョン推進担当理事よりビデオレターにてご挨拶をいただき、続いて中本有紀・大阪大学 部局横断型 女性技術職員ネットワーク代表が、女性技術職員ネットワークの紹介、講師の紹介、プログラムについて説明しました。その後、全国の女性技術職員の講師2名～4名と親子の参加者2組を1つのグループとして約20班がそれぞれのルームに分かれて工作実習を行いました。講師の説明を聞きながら、予め送付した黒い厚紙と分光シートを使って一緒に分光筒を作成してもらい、完成した分光筒を使って光を観察しました。それぞれの大学・高専の紹介、光が分かれる仕組みを勉強、クイズにチャレンジなど、各班の講師がそれぞれに最大限の工夫を凝らし、子どもたちに短いひと時を楽しんでもらいました。終了後にメインルームに戻った子どもたちに感想を聞くと「楽しかった。」「また、やりたい」と満面の笑顔で答えてくれた言葉が印象に残りました。

今回、開催日の8月3日は晴天に恵まれましたが、17日は全国的に雨天となったこともありネットワーク障害や当日キャンセルなどから全参加者数は、145名となりました。

北海道から沖縄まで全国の大学・高等専門学校17機関から、講師58名を含めた62名の女性技術職員の協力・連携により、無事2日間の日程を終了することができました。ご協力いただきました皆さま、ご支援いただきました各機関には大変感謝しております。一方で主催側の事前準備等の遅れや、講師でご参加いただいた皆さまへのご負担など、問題点も多かったことと思います。今後はそれらの課題を改善してより良いイベントの企画・開催に繋げていきたいと思っています。

【共 催】大阪大学男女協働推進センター・近畿地区女性技術職員ネットワーク

【後 援】理学研究科、医学系研究科、工学研究科、基礎工学研究科、産業科学研究所、蛋白質研究所、接合科学研究所、科学機器リノベーション・工作支援センター、低温センター、核物理研究センター

【協 力】北海道大学、東北大学、富山大学、山梨大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学、愛媛大学、岡山大学、鳥取大学、佐賀大学、琉球大学、函館工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校

以上のように数々の機関にご協力いただきました。誠にありがとうございました。
また、富山新聞様、科学新聞社様には、本イベントを紹介していただきました。心より感謝いたします。



奈良 哲・人事労務、事務組織、リスク管理、ダイバーシティ&インクルージョン推進担当理事のビデオレター



講師・運営スタッフとして参加した
女性技術職員(8月3日)



講師・運営スタッフとして参加した
女性技術職員(8月17日)